

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

夢中になって働けば運命は開ける 稲盛 和夫 (京セラ名誉会長)

1. 現代を生きる若者たちに、「働く」ことの大切さを教えなければならないと思います。働くことは、まさに人生の試練や逆境さえも克服することができる「万病に効く薬」のようなものです。誰にも負けない努力を重ね、夢中になって働くことで、運命も大きく開けていくのです。
2. 人は得てして、恵まれた環境にあっても、与えられた仕事をつまらないと思い、不平不満を口にします。しかし、それで運命が好転するわけではありません。与えられた仕事を天職と思い、その仕事を好きになるよう努力し、さらに打ち込むのです。そうするうちに不平不満は消え、仕事も順調に進むようになっていくはずで、そして、さらに懸命に働き続けていくことで、素晴らしい考え方や人格を自分のものにすることができ、結果として物心ともに豊かな人生を送ることができるのです。
3. 現代の若者を見ると、単にお金を得るためだけに働けばいいという風潮がはびこったり、耐えるということや、努力することに意味がないと考えている人々が増えています。それがニートやフリーターの増加につながっているのでしょう。これらの間違った現状を人生の先達である我々は、いまを生きる若者たちに正しく教えていく責務があると思います。(参考:「致知」2007年4月号)

ワンポイント経営アドバイス

あらゆる製品・サービス・プロセスを常時見直す (P.F. ドラッカー)

1. 長い航海を続けてきた船は、船底に付着した貝を洗い落とす。さもなければ、スピードが落ち、機動力は失なわれる。あらゆる製品、あらゆるサービス、あらゆるプロセスが、常時、見直さなければならない。多少の改善ではなく、根本からの見直しが必要である。なぜなら、あらゆるものが、出来上がった途端に陳腐化を始めているからである。そして、明日を切り開くべき有能な人材がそこに縛り付けられるからである。
2. ところが、あまりわずかの企業しか、昨日を切り捨てていない。そのため、あまりにわずかの企業しか、明日のために必要な人材を手にしていない。成長の基盤は変化する。企業にとっては、自らの強みを発揮できる成長分野を探し出し、もはや成果を期待できない分野から人材を引き揚げ、機会のあるところへ移すことが必要となる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2007年1月27日号)

経営者のための危機管理

不祥事を起こす企業の共通の病巣

1. 日興コーディアルグループ、パロマ工業、関西テレビ放送…。不祥事を発端として経営基盤が大きく揺らぐ事態に追い込まれる企業が続出している。不祥事の内容は各社各様だが、そこには共通の病巣がある。どの会社も、独裁体制によりトップが裸の王様となり、それが不祥事の温床となるばかりか、事の起きた後の初期動作の誤りや、自浄能力の欠如をもたらしているのだ。
2. 独裁は、すばやい意思決定には役立つが、イエスマンが溢れ、情報が遮断された組織は、問題に直面すると一気に転落する。各社に共通する病巣は、不祥事そのものの中身より、それを隠したり、自らの責任を認めなかったりする会社の体質にある。健全な批判勢力と緊張感のない会社には必ず不祥事の病巣ができ、がんのように転移するものだ。(参考:「WEDGE」2007年4月号)

古典に学ぶ

己を^{たの}ため

「士は当に己に在る者を持つべし。動天驚地極大の事業も、亦すべて一己より締造す」

(訳) 男児たる者は自身にあるものを頼め。他に依存してはいかなる大事業もできない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」): PHP文庫